

## 環境審議会（平成29年度第1回）顛末

日 時 平成29年11月20日（月）13時30分～15時00分

場 所 市役所大会議室

出席者 委員：家次敬介、高橋穰二、石川 芳、白木泰伸、小松孝裕、横井弘道、  
鷹合 勇、跡部昇一、西野成紀、南部栄一

（欠席委員）鎌田直人、有澤 浩、市村英規、菅原義人、今福百合子、小川綾子

事務局：環境係長 末松千幸、環境係 加門賢裕

1. 開会（進行：関根）

2. 市長挨拶

3. 議事（議長：高橋委員）

（1）環境基本計画の進行管理について

※事務局（加門）より、事前配布資料1 環境白書について説明

南部委員

昨年の環境白書と数値が変わっているのはなぜか。ついて記載してはどうか。

事務局

昨年の環境審議会において、環境基本計画の見直しを提案しました。その後パブクリックコメントの手続きを行い、今年3月に見直ししたものを公表しています。今回の白書は見直しをかけた目標数値に基づく指標となっています。

南部委員

畜産関係で糞尿などの処理で警察沙汰になっているはずだ。いいことばかりではなく、そのようなことも白書に記載するべきではないのか。

事務局

農林課の方に確認を行い、記載できるものについては記載をするようにします。

南部委員

ごみの関係について、説明会の話は理解をするが、実行性にそぐわない説明があったと思う。例えばストロー本体は固形燃料ごみで袋はプラスチック類といわれたが、素材は同じようなものなのに分別するのはいかなものか。

また、分別誤りということで1個でも違うものが入っているとおいて行かれる。1つぐらいいれば、収集をしていってはどうか。

事務局

以前、廃棄物減量等推進審議会でもそのような議論をされ、そこでは厳しく対応をという話になった。今度審議会が開催されるのでそこで議題として議論します。

高橋委員

1個といっても大きさがまちまちであったり、作業員によって判断が異なる場合がでてく

と思う。収集は委託をしているので、委託事業者と協議を行ってきめていくしかないのではないか。

南部委員

環境白書が、昨年と表示が大きく変わった。その場合は審議会で議論するべきではないのか。また、審議会で確認だけではなく勉強会のようなものも開催してはどうか。

事務局

勉強会ということで、実際に現地をみていただきたいと思い、今回はハイランドふらのに設置された固形燃料ボイラーをこのあと視察行きます。また、今後もテーマを絞って色々なものを現地で見えていただけるようにしたいと考えています。

高橋委員

イベントなどを多く開催されているので、そちらにも委員として積極的に参加していくことも重要だと思います。

## (2) 固形燃料ボイラー視察

※島の下ハイランドふらのに設置している固形燃料ボイラーを視察

## (3) その他

## 6. 閉会